夕刊
いわき民報
発行所
平市田町六三
いわき民報社
編集部電381
広告専用電1222

きものと帯
平市 かみや

長期融資など決議
中小企業者大會終る

昨報＝十三日平市公会堂で開かれた第五回中小企業振興大会では赤津県商工組合連盟会長を議長に業界の活ぱつな意見が約一時間にわたつて開陳された。先ず磐城市商工協同組合理事長高木武士氏が豊富なセメント資源を活用し強力な政治力によつてセメント工業を振興させ、失業者救済、中小企業者への好況をもたらせと力説。福島機械工業協組理事長浅間久雄氏から中小企業金融公庫が目下仙台に誘致されようとしているが、これを福島に誘致運動すべく提案あり木工振興協組代表山崎作蔵氏から中小企業振興策の一般について述べられ、特に中小企業に対する県の補助が極めて微弱である点を衝くなど喝采を浴びた。内郷市商工会副会長窪原猪和夫氏はこの日の発言が各人五分間、しかも発言通告者のみに限定したという主催者側の態度に対し、余りにも形式的であるとなじり、特に地元の出席者が少い点について、これは十三日が常磐炭鉱の会計日に当り、零細商工業者にしてみれば大会に出席するほどの余裕がないことなどを例にあげ、今後は真に中小企業者の実質的な立場にたつて大会を盛り上げるよう強く要望、注目を浴びた。好間商工協同組合理事長森栄太郎氏は税金の適正化。内郷市商工会副会長大滝久蔵氏からは金融問題。最後に県優良店会連合会長須賀兼嗣氏から業界の渇望している長期融資を確保するため、今後は、地方公共団体も商工中金に預託金を出すことが強調され、いずれも拍手を以つて採択された続いて樋口県商工部長がこれらの意見に対し今後の行政面に中小企業振興策を生かすべく努力する旨答弁あり、次ぎに次期大会開催地の件を審議、明三十一年度は会津若松市、三十二年度は白河市で開催することに決定、平専門店会理事長中野萬雄氏が大会宣言を朗読決議は小野栄一市議が朗読、いずれも満場一致決議され、のち平商工水産委員長坂本昌蔵氏の閉会の辞で午後四時過ぎ閉会した。なお中山青年会のジャンガラ念仏踊りが披露され、山崎平商工会議所会頭の音頭で万才三唱があつて盛況裡に散会した。

決議した事項

同大会で決定された決議は次の通り。

▼中小企業に対する低利且つ長期の融資を拡大すること。

▼中小企業に対する税制の適正化を図ること。

▼中小企業に対する大企業、大資本の不公正取引並びに圧迫を排除する措置を急速に講ずること。

▼県内中小企業指導機関に対する強化拡充措置を講ずること。

▼中小企業等協同組合の育成強化を図るため国庫補助の増額を図ること。

▼電源県としての電気料金地域差を認めること。

▼中小企業金融公庫を福島に誘致すること。

開港指定に努力する
小名港視察の吉田税關長語る

県並びに磐城市から小名浜港を貿易開港に指定してほしいと陳情をうけた吉田横浜税関長ら一行三名は、実情調査のため十三日来市、十四日午前十時から磐城市長室で中田助役を始め港湾関係者と懇談したが、席上「小名浜港が発展することは望ましく、所管税関所としても開港指定運動には積極的に努力したい」と前置きして次のように語つた。

小名浜港は現状でも施設が整備されつつあり、一応開港としての資格を備えていると思うので開港には有力ではあるが、先ず建設中の一万トン岸壁の完成と併行して開港の指定をつけるように努めたい。

十三店を指定
平市労協で

平市労協では去る十一日の役員会で市労協指定店十三店を次の通り決定した。

仙台屋履物店、小松屋履物店、深谷靴店、鈴藤、ニツコーデパート、金光堂、吉田カバン店、福山カバン店、丸江洋服店、根本時計店、北川呉服店、武田陶器店、佐川呉服店。

鯨の水揚げ
合計十一頭

磐城市小名浜港を基地にして鯨を追つていた竹林捕鯨部のキヤツチヤーボート亀富丸は去る七日で今年の操業を打切つた。捕鯨を開始した六月十三日から九月七日までの間に漁獲したのはツチ鯨八頭、その他三頭で計十一頭。昨年はキヤツチヤーボート二隻だつたのが今年は一隻になつたので目標のツチ鯨十五頭には到底及ばなかつたこのほか同市中の作港にもキヤツチヤーボート（ミンク船）二隻が今夏以来ミンク鯨を追つているがこれまた成績は不振である。

右社を離黨
鯨岡支部長が

右派社会党磐支部長鯨岡兵輔氏（常磐市表町）は今回離党し各方面に声明書を出した。今春改選の市議会に一名の議員をも送れなかつた責任を痛感し、さらに年齢と健康が党活動を許さないというのが離党の理由だが終戦後十年間の支部長であつた。なお近く後任支部長を選任することになつている。

天気予報
十四日

【今晩】北よりの風、晴時々曇。

【明日】北または西風、晴午後は一時曇が多くなる。海上は今晩多少風波があり、明日は大体おだやかだが一時風波が出る見込み。

火力發電所誘致へ
十六日總合開發理事會開く

通産省が常磐炭田地区に低品位石炭利用による火力発電所の設立を決めたことから、常磐地方総合開発期成同盟会では十六日午前十一時から勿来市役所で理事会を開き茨城県から双葉郡を占める常磐炭田地区の火力発電所設定地区は、その中心地の勿来市植田町と定めその実現を目指し期成同盟会が全力を挙げて運動することを申し合せ運動方針を決めることになつた同会議終了後植田町の火力発電所誘致予定候補地を視察する。

植田分室が昇格
來月から發足の豫定

勿来市役所が中心となつて運動していた平職安所植田分室の出張所昇格が内定し、十月一日から植田出張所として発足の見透しが確実的となつた。

勿来市、同市議会は同地区が炭鉱不振から失業者が増大し、取扱い業務も月平均は屆求職者九千八十二名、一般求職者五百二十三名、求人二百八十五名、失業保険金受給二千六百一名、同金額二百八十万円という分室としては業務過剰の取扱いをしていることから、県職業安定課を通じ労働省で平職安植田分室の出張所昇格方を運動中だつたもので、同出張所の内定にともない新出張所長以下職員は十四名（現在八名）となり、現在二十坪の狭い庁舎も勿来市管理の庁舎を借りうけるほかこれまで平職安所にすべての指示裁決を得ていたものを単独処理が出来ることになる。なお出張所発足に伴う人事異動は三十日ごろ発令の模様。

學校保健協設立を協議
あす準備會

明十五日午後一時から平第一小学校で県学校保健協会石城支部（仮称）の設立準備会を開き、校長会などの一本建にともない学校保健協会も石城支部、平支部を発展的解散し一本化することを協議する。

磐城市區長會

磐城市区長会連合会は十六日午後一時市役所会議室で開き次の案件などについて協議する。

▼選挙人名簿申告書提出について▼明治神宮復興奉賛金について▼自立促進貯蓄運動の実施について▼給水工事の維持管理について▼共同募金運動について。

刀剣展示會
あす植田て

勿来刀剣保存会と勿来警察署主催勿来市教育委員会、植田公民館後援の刀剣展示会は明十五日午前九時から午後五時まで植田公民館で開かれる。観覧は無料、当日は刀剣の鑑定及びとぎ師の斡旋もする。

福祉協議會
勿來で結成

勿来市社会福祉協議会結成式は十四日午後一時から錦町公民館で開かれ、規約及び予算事業計画役員の選挙が行われた。

物見ヵ岡

マルサ製品のラムネからヒ素が出たと県が発表した。森永のミルク騒ぎがあつた直後なのでまたかと県民を驚ろかしたが、そのヒ素は微量で害にはならないという▼一方地元の平保健所では取締りに手落があつたのでないかとそのラムネを四回も検査して見たがヒ素なんか少しも混つていないことが判つたという▼県はヒ素があると主張し平保健所では無いといいどつちのいうことがほんとうなのか恐らく誰も判らない。それで十三日から県の検査員と平の検査員が共同で検査を始めたがややつこしい検査になつたそうでその結果はすぐ発表するのかどうか判らない▼県側は以前にも一回あやまちをおかしているそうで慎重に検査したものだといつているそうだが、一度ウソをつく者は大抵二度ウソをつくものだそうだから平保健所のいい分が信用出来るような気がする▼この問題は最初から製品は害になる程ではないと県側が発表しているが、それでもマルサという一営業者にして見れば大きな打撃であろう。だから県と平側の共同検査の結果をウソいつわりなく率直に発表してその対策を講ずべきである▼検査技術者の面子にこだわつて市民の営業権を無視しない様にすべきだ。

初サンマ水揚げ
けさ小名濱港に、魚体は一尺

十四日朝磐城市小名浜港に早くも初サンマ約八千貫が水揚げされた。この漁船は静岡県焼津港所属のサンマ船第八福徳丸（一七〇トン）で積んで来たサンマの目廻りは何れも大きく長さ約一尺、目方四十匁もあり相場も高値二百五十円、安値二百三十円で取引された。この初水揚げは例年より四日早かつた。

【写真は小名浜港のサンマ初水揚げ】

町村割當額
共同募金の

石城郡三十年度共同募金目標額九十一万六千円の七町村別割当がこのほど決り、不振炭鉱地区を多く含むため一戸当り県平均より三円低く六十二円だつた。総目標額も昨年の九十七万円に比べ五万四千二百円少い。

▽町村別目標額（単位千円）好間村二五六、田人村八一、三和村九七、四倉町二五九、小川町一〇二、遠野町一二六、川前村六四。

1955年度の錦秋に放つ…
婦人子供服 青梅夜具地 荷開き御披露大会
14〜18日
3000點 コレクシヨン
當店今週の話題…（16—18日3日間）
伝統を誇る 太鼓判印 学生服 特別発表会
婦人用スプリング ツーピース スーツ セーター各種
子供用上下服 ワンピース 各種
◇…皆様方を心から お待ちしております
衣料品のデパート
鈴藤

物語り飯野八幡宮

高萩精玄 ⑥

その後約百年ほど経過いたした元亨元年（一三二一）になると、この由緒ある社殿が、再び回祿の災にあつて焼亡してしまつた。これは故猪股金五郎氏の新しい說によつたものであるが、旧くは建武二年（一三三五）の春と說かれている。時あたかも鎌倉幕府滅亡の直前、たゞならぬ戦雲が日本全国を掩つておつた動乱期であつたので、好島の荘の地頭などの協力も得られず再建の期を失していだが伊賀三郎左衛門尉盛光は、津軽（青森県）に於ける持寄城（もよう）攻略の戦功をもつて、その造営を国衙し北畠顕家公に願い出ている。盛光の大いなる功績に感じた顕家公は、この願を聴き入れて建武二年六月二十九日、好島の荘の東西両地頭に令して協力を命ぜられた。おそらくは、いまだ工事に着手さえもしないうちに、足利尊氏の反を契機として、盛光は、武家方に左祖したので、今度は、神社の復興を尊氏に訴願した。これによつて、多年の宿願を達成することが出来た。貞和四、五年頃（一三四八・九）の文書にこの辺の事情が誌されている。

その後、文明元亀の戦国時代ともなると、この東国も擾乱を免れる事が出来ず、その余あうを受けて、神領も次第に没収されて昔日の面影もなくなつたが、文禄五年（一五九六）四月二十三日、常陸の国太田の大守佐竹又七郎源義忠が、国中を巡検なされた折、好島の荘の旧地を検注して、上荒川村（平市のうち）と白岩村（四ツ倉町のうち）との六百五十石を神領として確保いたしました。この事実は飯野文書によるものであることはいうまでもないが、この佐竹又七郎については多少の疑点があるようである。文禄五年頃の佐竹氏の当主は、右京大夫源義宣岩城忠次郎貞隆公の長兄にあたるのであり、十三才の時に、太田八幡神社に於て元服し、次郎義宣といつている。この義宣公の略譜には

文禄二年甲午十月、所領常州十郡、野州三郡奥州南郷を検地して、高五十四万五十七百六十五石九升を得たり

との記事がある。（「佐竹家歴代事略」による）従つてこの佐竹又七郎義憲（往々義忠とも書せり）は「常州の大守」とは呼び得ないことになると思う。なお後考を俟ちたいと思つている。

（一五）

慶長五年（一六〇〇）の秋、天下分け目の合戦と謳われた関ケ原の役も、西軍の勝利に終り、その年の十一月には論功行賞が行われた。会津中納言上杉景勝と結んで徳川家康公の背後を脅かした佐竹右京大夫義宣及び岩城忠次郎貞隆公は、それそれ御国替えを命ぜられ、貞隆公は本知行二十二万石を減少し、二万石にて羽州亀田へ移封された。

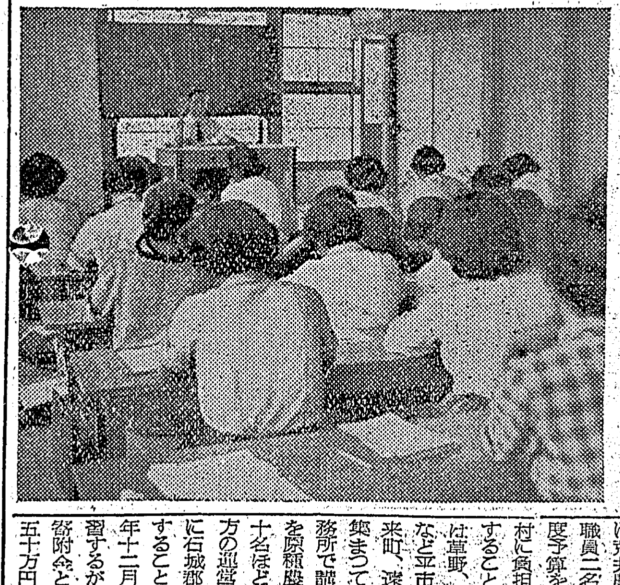
次いで、慶長七年四月二十三日上総の国は矢作の庄岩ケ崎から、鳥居左京亮平忠政朝臣がこの石城の地に入部された。知行十二万石現在の大館の地に住われた。忠政朝臣は大館の地の要害悪しく、地の利を得ていないことを不満に思い、築城に適する形勝の地を物色じて、ついに赤目ケ崎見物ケ岡、即ち飯野八幡宮の神域を選定した誠に迷惑千万なことではあるが、平城の新築は、二代将軍徳川秀忠公も永楽三万貫文を下賜なさつたほどの熱意のもとに行われたので如何ともいたしかたのないことであつた。なお「磐城文化史」の筆者は「飯野八幡神社領の六百五十石を減領せんとし」云々の語句を弄しておりますので、忠政の政治的な意図しいやがらせのような事もあつたかと思われる。それはともあれ、この時飯野八幡宮は現在の宮居にお移りなされたのである八代義定先生は、当時の神殿一切は飯野氏の独力で創建されたものだろうとのお話であつたが、この辺の事情から考えて、肯定出来ると思われる。この慶長年間のものと推定される飯野八幡境内古図が「磐城志」（岩磐史料叢書上）にも載せられてあるが、誠に堂々たるものである。

（筆者は小名浜高教諭）

花嫁花婿を一緒に養成

台所を新設、全國最初の試み

石城農業講習所（平市大字塩、県園芸原種農場内）では昨年十一月発足以来、無一文で運営してきた花嫁学校の運営問題についてこのほど協議した結果、本年度分運営費を三十万円と決め平市始め関係市町村に負担してもらうことに決め、専任職員を置くほか、石城財務事務所で養成してきた男子の中堅農民を原種農場の講堂で兼ねて養成することになり、準備を進めている


【写真は花嫁学校で熱心に受講中の生徒たち】

この計画の中には花嫁学校や講堂をモデル農家に仕立て宿泊の設備や模範台所を完備し、合宿しながら勉強できるようにするが、花嫁と花婿を一緒に養成する農村学校は全国で平市だけだと早くも話題を呼んでいる。

花嫁学校は発足以来、授業料は無料とあつて現在まで延七十人位になる。講師は車馬賃は勿論、謝礼なしで奉仕、専任職員もいない為これまた県園芸原種農場の職員が無報酬で協力する等、県の補助が全然ないことや、当時市町村合併問題で負担金の取決めが順調にゆかなかつたことなどで、何んとか関係者の犠牲的奉仕で運営して来たが、第一期生はすでに二十五名を農村におくり出し、目下第二期生五十六名が五月から来年三月まで毎週二日間（午前九時から午後三時まで）一般教養や衣食住生活改善、マッサージ及び保健衛生、生花、作法、農業経営、農業技術などの理論と実習を受講中である

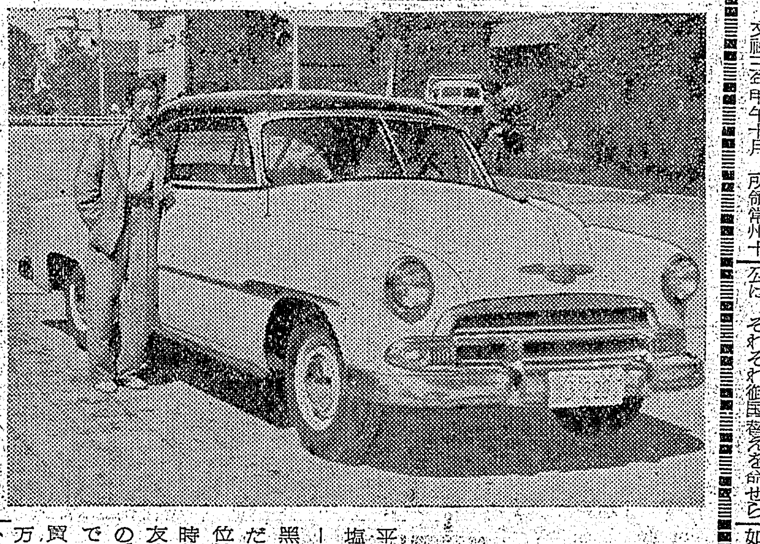
同所では文無しで今後も経営してゆくことは困難になつたゝめ、運営委員長の諸橋平市長は事務局長に荒井農務課長を兼務させ、専任職員二名（女子）をおくほか本年度予算を三十万円とし、関係市町村に負担してもらうべく今後折衝することになつた。入校生の半数は草野、神谷、飯野、高久、平窪など平市内の者で他は好間村、勿来町、遠野町など郡内各方部から集まつている。今後は石城財務事務所で講習していた中堅農村男子を原種農場の講堂（六十坪）で六十名ほど講習することにし、この方の運営は予算の関係から暫定的に石城郡農業委員会連合会に一任することになつた。講習期間は本年十二月から来春三月まで連続講習するが、この間に花嫁学校建設寄附金として未納分になつている五十万円の資金をもつて、花嫁学校の台所を完備するほかこの附近の敷地や同講堂を利用してモデル農家に仕立て、生徒たちが合宿しながら勉強したり、男女生徒が一緒になつて時折り、討論会などを行い相互に研究心を高めるなどの準備も進められている。なお花嫁学校の第一期卒業生二十五名のうち六割は、農村の花嫁として迎えられ、近代的教養を誇る農村主婦として活躍し、ウブ声あげたばかりの花嫁学校の卒業生たちは大豊作に恵まれた農村のよろこびと共に好評を呼んでいる。

荒井事務局長談＝今度は予算をたてて運営することになつた。講師の人たちなど今まで良く協力してくれたと思うと感謝のほかはない。今後も授業料は無料であるが、関係市町村から負担金をとりたい。今後とも農村を健康に明るくするのも先ず人の教育にある。新生活運動の促進もそこにあると思う。男子の教育も一緒に行うが必ず全国でも珍らしく立派な学校が生れるだろう

のってみたいなァ〜　自家用車拝見

東北に一、二台の珍車

鹽谷さんのシボレー



平市十五丁目丸茂土建工業所組長塩谷茂雄さんの自家用車はシボレーセダン五十一年型。クリームと黒色のコンビで、見るからに軽快だ。「これからの実業家は自動車位持たなくては仕事にならんよ。時代はスピード時代だからね」と友人に進められ、駐留軍の某大尉の乗用車だつたものを百六十万円で二十八年に買つたものだそうだ買つてからすでに二万四千マイル（三万四千六百キロ）下の関から青森間一千八百四十七キロとあるから本州の端から端までを九往復したことになる。それなのにキズ一つ着いていないというのだから扱い方は丁寧そのもの。気がふさいだ時などこの車をながめると急に気分がすぐれるという。「オレだつてハンドルをとつた時もあるんだヨ」と塩谷さんはおつしやつたが、酒井運転手さんの話しでは見た時がないそうだ。知つているのはただシボレー君だけらしい。

米国製シボレーは一般の実用車でこのセダン型は東北には二、三台しか無いという珍車。二ドア式六人乗りでガソリンもあまりくわず値段も安いから一般向きという。「新しいせいか故障は一度もない車は新車に限る。金があつたらそのうち新車と取り変えたい」との話。最高時速は百二十マイルだが、普通三十マイルぐらい出している自家用車があると思い立つた時何処へでもすぐ行つて用をたせる。例えば汽車で東京に行けば服装から宿泊着いてからの乗り物を心配しなければならず、自家用ならその心配がいらない。時間的にも非常に能率的だ。たゞゼイタク品と思われるのが心外だそうである。

【写真はスマートなセダンと塩谷さん】

カナリヤ迷い込む

十二日夕刻平市田町並木通り鈴木助産所にローラーカナリヤが一羽飛込んできた。飼育中だが、心当りの方は鈴木さん方へ。

内郷映畫會

内郷市公民館主催のナトコ映画会は十七日から四日間次の日程で行われる。

十七日綴第六部落館、十八日下綴部落館、十九日浜井場部落館

二十日白水第一部落館

映画は「砂と炎」「月の輪古墳」

DPはタナカ

ラジオ買うなら世界一のＲＣＡと技術提携盤産される
シャープ・ラジオ
をお選び下さい（最寄りの特約店で御試聴を…）
福島・宮城県 総代理店　田村無線電機株式會社　平市1の47TEL636

小鳥と釣具は三幸

割烹 一の井 平市田町 電二一〇

ホンダ ドリーム號 聚楽館前 新和

地下タビ 運動靴 長靴 は

新しいDPは富士

服を生かす裏地
甲商サベリ特約店
丸進裏地部
平市東銀座通り電1358

仏壇 仏具 橋本屋 平市新川町一九四八

謹告
十四日午前零時四十分ごろ第三観音丸火災の際は早速お駆つけ下され消火に御尽力下さいまして誠に有難うご座いました当時不幸にも乗組員二名が船内にいたため思わぬ犠牲者を出して仕舞いましたが皆様の御協力で遺骸を収容することが出来ました。御協力を頂きながら御尊名御伺い洩れもあると存じますので紙上を以つてあつく御礼申上げます。
昭和三十年九月十四日
観音丸漁業部　齋藤誠吾

新築賣住宅
▽建坪一六坪五合▽六、四、五、三畳玄関、台所、便所、浴室、物置付
▽価格連絡乞　平市童子町電（呼）一七二〇　浩倫建設工業所

醫療厚生指定病院
財団法人 竹林病院
本院 平市十五町目電八一一
分病棟 平市小太郎町電六〇八

經理・税務・會計監査
お気軽に御相談下さい　懇切に指導研究致します
公認會計士 高橋義
平駅前三延ビル三階電一〇一七

レストラン サニーの ハンバーグ ステーキ

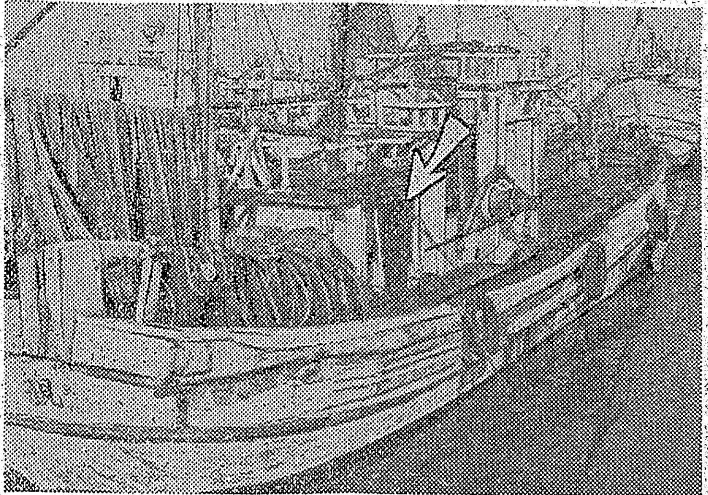
○看護婦家政婦の御用命は
電話三〇七番 平看護婦家政婦斡旋所
労働大臣認可
○親切丁寧な看護婦 家政婦 御利用下さい
平市南町

内科外科 産婦人科 放射線科
松尾病院
院長 松尾正平
副院長 原徳之
医員 松本浩
レントゲン技手 杉田昭二
厚生保護指定医 労災保険指定医
平市大町五（電一五四）

婦人用靴下 アンコール トリコール スカーフ ネッカチーフ
平・1・電364 シラドヤ

漁夫二名が焼死
第三観音丸が火災

十四日午前零時四十分ごろ磐城市小名浜魚市場前岸壁に繋留中の同市古港一一九斉藤誠吾さん所有底曳漁船第三観音丸（二九トン）の炊事室から発火し附近に沢山漁船がいたため一時大騒ぎとなり海難救護会、磐城消防署、小名浜消防団のポンプが出動、消火につとめたため炊事室など約三坪を焼いて同一時三分鎮火した。この火事で船番のため同船内に寝ていた本籍新潟県村上市字瀬波漁夫伊与部清治さん（三一）と札幌市南七條西二丁目漁夫岡田一夫さん（三三）の二人は逃げ場を失い無惨にも焼死した。原因は船番の漁夫が朝飯を炊くため重油ストーブに点火したまゝ寝込んで仕舞つたためストーブが過熱し大事に至つたものと見られている。船の損害は約五十万円。



【写真は火災を起した第三観音丸―矢印のところが炊事室でこの中で二名の船員が焼死した。】

戸籍係が鐵道自殺圖る

十三日夜十時二十三分の上り勿来行き列車が綴駅を発車して間もなく、磐城市役所戸籍係勤務関本太助さん（三二）＝磐城市神楽町四二＝は飛込み自殺をはかつたが跳ねとばされて頭に一週間の打撲傷を負つただけで生命はとりとめた。原因は神経衰弱らしい。

身元が判る
チフス死亡者

既報＝去る八月三十日腸チフスで死亡した漁夫の柴田政治さん（二七）の身元について磐城市並びに同市網本小野徳次郎さんらの手で探していたが同僚の同市汐留漁夫岡田国蔵さん（三七）の積極的な協力が奏功して千葉県そうさ郡野栄町栄地区東植田一一五柴田音吉さん（六〇）の三男であることが判り十二日音吉さんが来市して市はじめ小野、岡田さんらの温情行為にいたり感激しながら政治さんの遺骨を抱いて帰つていつた。

殺人未遂に執行猶豫

勿来市勿来大字四沢町字作田長田実（三七）に係る殺人未遂事件の判決公判は十四日午前十一時より地裁平支部で大竹裁判長係、横地検事、真木弁護人立会で開かれ、懲役三年（求刑同三年）三年間執行猶予の判決言渡しがあつた。

同人は三十年五月妻松子さんと別れ同月二十八日午前十一時半ごろ荷物を取りに妻の実家に行き、再度復縁をせまつたが聞き入れられず、とつさに妻も殺して自分も死のうと、そばにあつた棒で松子さんの頭部を殴りつけ全治一カ月の重傷を加えたもの。

泥棒五人に判決

十四日平簡易裁判所で五件の判決言渡しがあつた。

▼常磐市生れ住居不定無職前科三犯矢部弼（二四）＝窃盗＝懲役六カ月。去る八月九日常磐市湯本字山ノ台菊地喜一さん方から自転車一台（時価五千円相当）を盗んだもの。

▼磐城市横町住居不定無職鈴木道男（二一）＝窃盗＝懲役十カ月、罰金二千円。本年二月十日磐城市本町パン製造業飯塚精助さん方からジヤム瓶二コ時価六千円相当を盗んだほか六件の窃盗を働いていたもの。

▼平市下神谷字沢帯前科二犯中根芳弘（三一）＝窃盗＝懲役十カ月。去る七月二十九日同市下神谷農業新妻吉蔵さん方から米二俵を盗んだほか五件の窃盗を働いていたもの。

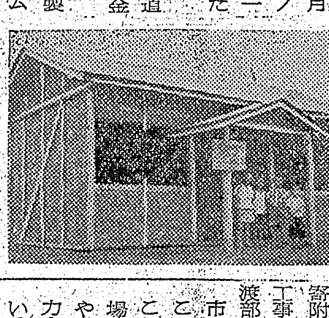
▼磐城市栄町無職八重子こと小泉八枝子（三三）＝窃盗＝懲役十カ月三年間執行猶予。二十八年三月二十七日同市本町大黒屋支店から現金三千円を盗んだほか五件のスリを働いていたもの。

▼田人村生れ不定無職芳賀昌喜（二二）＝窃盗＝懲役八カ月三年内執行猶予。去る八月二日平市材木町木村力さん所有の腕時計一万三千円相当を盗んだもの。

労務者の托兒所
協力得て赤井に建設

平市には現在六百名からの失対労務者がいるが、そのうち乳のみ児やまだ学校にあがらない子供たちをつれて現場に働きにきている女労務者が五十名からいる。乳のみ児をかゝえての失対事業は実に容易でなく、託児所を設けようではないかの声は早くから労務者間に話合いされていたが、今度赤井地区の失対労務者百六十名は組合長菊地秋明氏を中心に進められ、総工費十万円で赤井浅口地内に敷地を求め、失対労務者には負担をかけず、お金持ちから百円、二百円と寄附金をあつめ、平市や県当局には一万円ずつ協力を願つて目下六坪建ての託児所を設けた。まだ寄附金が全部集まっていないため工事は中途のまゝになっているが渡部平市土木課長は

「市などが託児所を設けてやればこれに越したことはない。だがこれは仲々ムズかしい。赤井の場合には一万円ぐらい寄附してやりたいと思い、県当局にも協力を求めている。今後の管理上いろいろムズかしい規程があるので容易ではないと思うが、是非協力してやりたい。」と語つている。



【写真は赤井の失対労務者が建てた託児所】

全炭鑛地方委員會開く
來る十六日

全炭鉱常磐地方本部では十六日午前九時半から労働会館で第二回地方委員会を招集し、冬期賃斗や困窮炭鉱従業員家族救援対策本部の設置など十二議案を協議する。議案次の通り。

▼第二回中央委員会に関する件❶賃金斗争❷生産性向上運動態度決定❸石炭鉱業安定化斗争❹労基法改悪反対❺地下産業労働組合連絡会❻中央本部財政確立と充実カンパ❼生活担当者会議❽困窮炭鉱従業員家族救援対策本部設置▼弁論大会▼海外炭鉱児童との図画交換▼救援物資配分▼磐炭労申し入れの件

常磐分會役員會

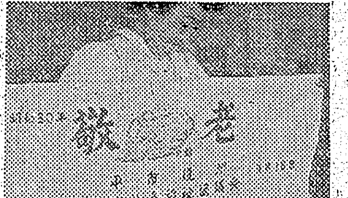
在外資産獲得期成同盟会常磐分会はこのほど結成したが、十五日午後三時半から湯本公民館で初の役員会を開き今後の具体的運動方針など協議する。

傷害で擧る

平署は十三日夜平市平窪字寮ノ内トビ職太田一作（三三）を傷害の疑いで逮捕した。調べによると八月二十日夜平市大工町踏切り附近で同市仲町土工馬場正雄さん（三二）にいんねんをつけ数回殴りつけ顔面等に全治一週間の打撲傷を与えたもの。

平は運動會に招待
二千五百の老人に手拭贈る

平福祉事務所ではとしよりの日を迎え、市内の七十才以上になる老人約二千五百名を、各小学校の運動会に招待、敬老と名入れした手拭やお菓子などを贈り慰安することになつた。

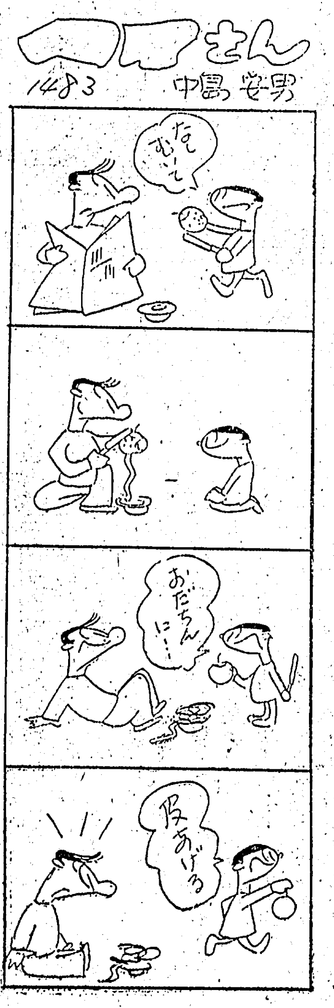


【写真は敬老の手拭】

俳優志願が十七名
きょう平市役所で審査會

平市観光課では永田大映社長から依頼されていた俳優希望者を募集中だつたが、中学生や高校生などふくめ十七名となつたが、十四日午前十一時から市役所会議室で原岡観光課長、新聞社など立会で審査会を開き、推選者を決め、二十日の締切りまで推選することになつた。大映では全国から集まる推選者を書類審査（第一次）した上十月八日まで合格者に通知あり、面接審査を十月中旬、東京撮影所で行う。

【写真は俳優審査会風景】



少年少女が戀の逃避行
連れ戻さる

去る九日自殺のおそれがあると内郷署に届出た内郷市高坂町三本杉九二常磐炭鉱習技生吉田菊枝君（一七）と同市桜井九二蛭田フジさん（一七）＝平商夜間中退＝は、北海道函館署に保護されていると連絡があり家人が十四日朝連れ帰つた。二人は今年の春ごろから交際していたが恋の逃避行をしたもので約三千円を借りて各地の旅館を泊り歩き函館に着いたところを保護されたもの。

日脳廿名に

石城郡の日本脳炎患者はついに二十名に達した。磐城市大字上町七九自動車運転手後藤利明さん（三七）は十三日午後五時日本脳炎疑似で隔離された。

側面衝突し兩車が破損

十三日午前十時四十五分ごろ平市三十米道路交叉点で平市田町四九平タクシーのハイヤー＝運転手湯沢政光さん（一九）＝と同市南町三三財団法人磐城済世会医療寝台車＝運転手酒井幾蔵さん（三三）＝が側面衝突、乗客や運転手に別状はなかつたが、ハイヤーは右フエンダー右ボンネツト、ラジエータヒールを大破、損害約九万円、医療車は左ドアー、ボデーなど約一万五千円の損害をうけた。

平タクシーのマーキユリ小型ハイヤーは駅前から乗客四名をのせて左側を進行中、交叉点を右折してくる医療車を発見、ブレーキをかけたが間に合わず、医療車の左側に衝突したもの。

内郷で親善卓球

内郷市役所、常磐炭鉱内郷労務係、常磐労組内郷支部の第一回親善卓球大会は十七日午前九時から内郷市浅野記念館でリーグ戦によつて行われる。

獅子舞出る
小名濱の祭り

磐城市小名浜鎮座諏訪神社（宮司小名川年雄氏）の恒例夏まつりは十三日執行されたがあいにくの雨にたたられて参詣者の人出では僅少であつたが郡山有志の大々神楽のほか地元走熊の白土一雄さん（三二）ら一行十五名による豊年祈願獅子舞い〃ササラ〃の奉納が同境内で行われた。特に〃ササラ〃は市役所、漁協組前など市内十八カ所で奉納し人気を呼んだ。

【写真は獅子舞い―磐城市役所玄関前―】

クスリの御用は…
株式会社 神谷薬局
平市田町二三（電三二）
小賣店 平市田町五〇（電二一九八）

全国毛糸まつり売出中
東洋紡のダイヤモンド毛糸
英国製ビーハイブ毛糸
半ポンド 920円
ハシモトヤ糸店
平市銀座通り電14

便所の汲取りは
今評判の正直で桶一杯汲む
電話六七四番 白栄社へ
代表 白土彦治
親切丁寧迅速で百聞は一見にしかず
一度お試しのほど…

平名物若ひな鳥料理
▽自家飼育▽お一人前一五〇円
▽一羽特別料理もございます
お食事のパデート
★出前迅速★
平市中央通り電八八六、一七五〇
不二屋

ヤマフル
しようゆ・みそ
秋の味覚の引立役
御用命は電10番へ
塩屋

故伊關セツ刀自 葬送の際は御多忙中にも拘らず遠路態々御会葬下され且御丁重なる御玉串料を賜わり御芳志誠に有難く深謝致します
早速拝趨の上御礼申上ぐべき処略儀ながら紙上を以て右御礼申上げます
昭和三十年九月十四日
平市二丁目三
施主 伊關房次
男 伊關克巳
外親戚一同

遊び場を造る

福祉相談所の子ら

平児童福祉相談所の収容児は現在十七名おりうち女児六名で男ばかりが多く、遊び盛りとあつて野球遊びが多い。ところが同所の敷地が狭いため、遊び場のないところから隣の敷地（強口唯七郎氏所有）約六百坪が空いているのでこゝをかして慾しいと交渉、レール、木材など材料を置く必要がない間は当分お貸しするというので児童たちは大よろこび、さつそくスコツプをもち出し遊びよいように地ならしを始めたが、この敷地の管理人も「こゝの子供たちは親もとを離れたり、みなし児が多いものだから遊ぶところが無くちや可哀想ですヨ」と同情、わが子たちのよろこびのようによろこんでいた

【写真は遊び場をつくる相談所の子供たち】

戰友會支部

常磐市で結成

石城戦友会常磐支部結成式は十三日湯本公民館で行い役員を左の如く決定、会費年間百円、全市を六班に別けて会員の獲得をする。本年末総会を開く予定。

▼支部長大井川八郎▼副支部長渡辺紀一、大平朗市、山口保▼幹事立花深、小泉宏蔵

交通安全標語など

平署管内の入選者

平署では交通事故防止のため管内の小中学校児童たちから去る七日よりポスター、標語、作文など募集していたが、十三日午後一時から署長室で応募されたポスター八十三点、標語二十六点、作文九点の審査を行つた結果、ポスターは小学校から三名、中学校三名、標語、小学校二名、中学校二名、作文、小学校二名、中学校三名の入賞作品を県本部に推せんすることになつた。なお今月下旬県本部では県下各署から推せんされた作品の展示会を開き十月の交通安全旬間の日に入賞者を発表する。入賞者次の通り

▼ポスター「小学生の部」志賀富行（県出品）＝平一小六年、鈴木文子（同）＝平六小六年、小田吉明（同）＝平一小六年、金成美奈子＝大野一小、山野辺光子＝同、佐藤敏彌＝平六小、矢吹早苗＝平一小、富谷サト子＝小川小、関口順子＝大浦小、鹿田興則＝小川小　中学生の部」寺島文雄（県出品）＝平二中三年、坂本道美（同）＝平三中三年、前田弘徳（同）＝四倉中三年、矢内守＝好間中、菊地誠一＝平三中、川村正勇＝好間[illegible]

▼標語「小学生の部」小林忠二（県出品）＝大浦小三年「右はぼくらの歩く道、左は車の通る道」志賀保久（同）＝高久小六年「後みて右に左にゆだんなく」荒川政久（同）＝中三坂小六年「車をうらまず油断をうらめ」鈴木福子＝高久小、古橋基子＝平四小「中学生の部」志賀耐彦（県出品）＝平二中二年「ちよつと待てかげの車がねらつている」大平忠雄（同）＝平二中二年「お母さんよく見て行こうこの道路」

▼作文「小学生の部」松本繁（県出品）＝平二小六年「命を大切にすること」草野ムツ子（同）＝小川五年「交通しらべ」猪狩照子＝高久小

【中学生の部】鈴木紀重子（県出品）＝豊間中三年「お使い」渡辺美代子（同）＝平三中三年「私の知つた交通事故」沢田洋子＝平三中、矢吹道江＝草野、鈴木昌子＝同

勿來の入選者

交通安全協会植田支部では管内の高、中、小学校児童生徒より事故防止ポスター、標語、作文を募集中であつたが、ポスターは二〇〇点、標語は二五〇点、作文は五〇点の応募があり九日勿来署で審査の結果左の作品が入賞した。なお入賞作品は今月末福島市で開かれる県下作品展に出品される。

▼ポスターの部（小学校）❶勿来三小四年小泉彦重❷同五年柏原玉枝❸同四年山本和彦❹同四年高木徹❺山田小六年秋山由美子

▼中学校の部❶錦中一山県千賀子❷勿来一中大平剛❸同一年福地正昭❹同一年松本克博❺同三年小池良和

▼標語（中学の部）❶錦中三山本礼子（一寸待て心のすきから油断から）❷同三年高屋弘明（街角は前見て側見て後見て）❸錦中二金成由紀子（人が歩くは右の道それを守るは人の道）❹同一年丹野勝則（昼間も消すな心の灯）❺同阿部恒子

▼小学校の部❶勿来三小五年坂本孝一（無理と油断はけがのもと）❷山田小四佐藤ヒロ子（よく見、よく跳け前うしろ）❸勿来三小五田畑弘之❹山田一四蛭田毅徳❺勿来三小四鈴木勝男

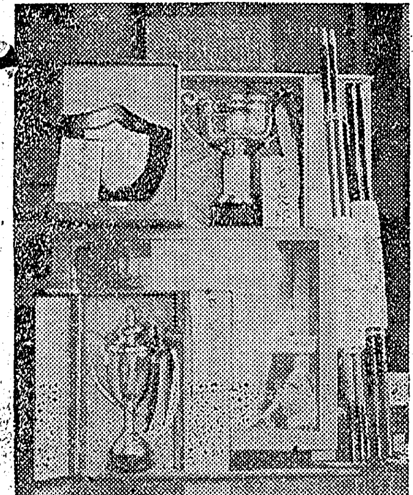
▼作文❶勿来三小六安野多津子❷同六中山智子❸〃四篠原一男❹〃布川美瑛子❺〃四船橋紀子

福祉連絡協議會

来る十九日午後一時から平労基署会議室で第七回社会福祉業務連絡協議会を開く。

ツリ大會に澤山な賞品

平釣友会（会長鈴木一男氏）発足を記念する第一回釣大会は十八日（日曜日）合戸の永井ダムで行われるが、次の盛沢山な賞品がおくられる。平市長賞カツプ（大物賞）平商工会頭賞楯（残念賞）釣友会長カツプ（数賞）このほか吉田店主の寄贈の技能賞や竿師竹翁賞が贈られる。いずれも二間半の銘竿二本。福島民報並びに本社からメタルも贈られるほか全員に参加賞も出される。参加申込み締切は十日だつたが十三日まで延期した現在申込み四十名。



【写真は贈られる賞品】

いわき俳壇

かぶと塚句會（背系支部）

一、九月四日（日）平市山崎、若松夏井宅

一、題、盆踊り、じやんがら、稲の花

夏井

じやんがらの競技や揺るる小提灯

街狭し年に一度の盆踊にて

出揃への稲穂の花や時津風

ツヤ女

をちこちのじやんがら冴ゆる風呂の中

ゐ留守居の湯槽できく盆太鼓

水口に白く流る、稲の花

卯洋

代りつゝ茂みの方へ踊りの輪

稲の花牛馬の影を常に落す

手放しであくび花稲のやすらかに

くめ子

小提灯ゆれてじやんがら終るなり

盆踊るすべも知らざる農婦われ

泥足の乙女の声や稲の花

美登利

じやんがらの遠音に子等の馳せてゆき

じやんがらに腰のおうぎそよく踊る

繁子

たそがれに淡き稲の花風立てゝ

盆踊り人各々の身振りかな

稲の花田の面に白し月仰ぐ

よし女

稲の花そつとふれてみる露の路

ジヤンガラの夜空に消ゆるひとりおれば

鎌とぎて見上ぐる稲穗花ざかり

沙人

熱き茶のこぼれ話や稲の花

地にしかと空のあおさや稲の花

巣吉

ふりかへる生計ぞあわれ盆踊る

バスの尻遥くゆれゆく稲の花

鳥威す銃声こぼるる稲の花

萱村

ジヤンガラの遠の太鼓タンタ鳴る

盆踊り臨時のバスの灯が揃ふ

稲の花乙女或るとき菩薩体

商工らん

喫茶たまはんの奉仕

平市銀座通り喫茶たまはんでは午前七時五〇分から十一時までモーニング、サービスを開始した。コーヒー、トースト付五〇円で煙草（ピース）一本サービスという宣傳方法をとつている。

寶屋で店舗新築

植田町八幡神社通りの宝屋呉服店では店舗新築のため本町大通元長谷川龍涮氏宅に移転し、十四日から十一月一杯まで毛糸祭り大売り出しを初める。毛糸は鐘紡、トワ紡製。

根本油店で特賣

植田町金畑の根本油店では優良な菜種油、白絞油、ごま油、サラダ油を多量に製造し特価で卸小売をし一般家庭から好評。

植田のパチンコ屋

植田町のパチンコ屋さんは大部分スマートボールに早変りし、パチンコ専門店は金畑の坂本パチンコ店一人舞台の格好で連日大繁昌。

あす映畫會

四倉小で

平保健所ではヒロポン、性病などの予防対策に乗り出しているが、十五日午後六時三十分から四倉町小学校講堂で無料映画会を催す。上映映画は弱い太陽、悪魔のわなDDTの科学、マンガ。

十六日夜も

四倉町文化団体協進会主催で去る一、二の両日催した仮装盆踊り大会は盛会裡に幕を閉じたので「盛況御礼」と銘うつて十六日午後七時から同町小学校講堂で入場料十円で「こゝに泉あり」ニュースなどの映画会を催す。

今晩のラジオ 14日

◇NHK 一三六〇KC

六・20 子供のしんぶん▽わらべ唄めぐり

六・45 オテナの塔

七・45 即興劇場

八・00 放送演芸会

九・15 シンフォニーホール

一〇・15 新しい道 青山京子

一〇・30 ラジオ喫煙室

◇ラジオ福島一〇六〇KC

六・05 消える孤島

六・15 児童劇「狐のしかえし」

六・30 父を訪ねて一万キロ

七・15 新選組

七・30 コロムビアアワー

八・00 ロート物まねコンクール

八・45 アルゼンチンタンゴ

九・00 ドレミファゲーム

九・30 角家演芸会

一〇・05 名作アルバム

民報映画案内

◇平市 十四―二十日

★平館 夜六時五〇分 由起子 人肌こうもり

★民劇 夜七時 哀愁の湖 センチメンタル・ジヤニイ（十四日まで）

★聚楽館 夜六時三〇分 三四郎 旅路

★ひかり座 夜六時三〇分 ハリケーン チャンピオン（十六日まで）

★世界館 夜六時五六分 わが名はペテン師 新女性問答

★東映劇場 夜七時一五分 マンボ石松踊り 謎の伏魔殿

◇磐城市小名浜

★磐城座 夜六時三十分 ひとり寝る夜の小夏 愛憎の瞬間（十七日まで）

★金星座 夜六時四十五分 豪快一代男 二十四の瞳（十六日まで）

★キンビ館 夜六時五十五分 振袖侠艶録 七ツボタン（十八日まで）

總天然色
赤いベレー
アラン・ラッド主演
監督 テレンス・ヤング
THE RED BERET
大空から地上攻撃へ、獨軍基地に怒濤の如く迫る空の決死隊！第二次大戰下歐洲戰線を赤いベレーで彩つた英國落下傘部隊の勇猛死斗の奮戰！
COLUMBIA
15日▼19日
拳銃無情
大都會の暗黒街に君臨する兇惡ギャングの實体をあばいて　かつてなき迫力を呼ぶダイナマイト巨彈
マーク・スティブンス
エドモンド・オブライエン
民劇

看板とネオン
平[illegible]社
TEL.1300

場外＝福島・郡山・若松・平
10時半 発売
平競輪
平開場以来の女子優勝者による
年末賞争奪戰（初日）
9月17 18 19 24 25 26